

コウノトリのヒナ誕生への市長コメント

令和3年5月11日

小浜市長 松崎 晃治

本市では57年ぶりとなる「コウノトリのヒナの誕生」は、大変うれしく思います。

これまで、10年余りにわたり地道に活動が続けてこられた「コウノトリの郷づくり推進会」をはじめとする地元住民、県など、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

今回、確認に至った経緯として、5月6日に親鳥がヒナに餌を吐き出す行動が確認されました。

奇しくも、57年前に国富地区で最後にヒナの誕生が確認されたのが5月6日、また55年前に最後の雌1羽が姿を消したのも5月6日と言うことで運命的なものを感じます。

コウノトリは、一度「ツガイ」になると、来年以降も同じ場所で営巣すると言われていたことから、今後、野外定着に向け、地元、市民、行政がどのような形で連携した取り組みができるか検討してまいります。

皆様には、ヒナが成長し、無事「巣立ち」が実現するまで、静かに見守っていただきますようお願い申し上げます。